

事務事業名	子ども家庭サービス事業
--------------	--------------------

1 事業計画・評価

H26年度実績 (Do)	H26年度評価 (Check)	評価内容
トワイライトステイ事業、ショートステイ事業、母子等緊急一時保護事業、母児ショートステイ事業、母児デイケア事業を実施した。 ショートステイ 209人 トワイライトステイ 8,592人 母子等緊急一時保護 44人 母児デイケア 1人	トワイライトステイ事業の利用方法については、より公平・公正で利用しやすい仕組みを検討する。母児ショートステイ・母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H26年度評価に基づく見直し (Action)

H27年度の具体的な取組 (Plan)	H27年度の方向性 (Plan)
トワイライトステイ事業、ショートステイ事業、母子等緊急一時保護事業、母児ショートステイ事業、母児デイケア事業を実施する。	トワイライトステイ事業の利用方法については、より公平・公正で利用しやすい仕組みを検討する。母児ショートステイ・母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。

H27年度実績 (Do)	H27年度評価 (Check)	評価内容
トワイライトステイ事業、ショートステイ事業、母子等緊急一時保護事業、母児デイケア事業を実施した。 ショートステイ 160人 トワイライトステイ 7,637人 母子等緊急一時保護 29人 母児デイケア 2人	トワイライトステイ事業の利用方法については、より公平・公正で利用しやすくなるため、キャンセル料発生時期を変更した。母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。	

新規・レベルアップ
 継続
 見直し
 廃止
 H27年度評価に基づく見直し (Action)

H28年度の方向性 (Plan)	H28年度の具体的な取組 (Plan)
トワイライトステイ事業の利用方法については、引き続き公平・公正で利用しやすい仕組みを検討する。母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。	トワイライトステイ事業、ショートステイ事業、母子等緊急一時保護事業、母児デイケア事業を実施する。

平成29年度における事業の位置付け		
A 重点化・拡大して継続	B	トワイライトステイ事業の利用方法については、より公平・公正で利用しやすい仕組みを検討する。母児デイケア事業は、母子保健分野等との連携を更に強化し、事業の実施方法の改善検討を行っていく。
B 現状のまま継続		
C 見直して継続		
D 休止・廃止等		
	1	

2 指標実績の推移・現状分析

現 状 分 析	3	2	1	
① 国や都、民間ではなく、市が主体的に実施すべき事業である。	実施しなければならない	実施するべきである	実施する必要は低い	3
② 実施に当たって民間活力等を活用する余地がある事業である。	余地がない	余地がある	多くの余地がある	2
③ 類似事業はなく、統合など再構築した中では実施できない。	実施不可能である	検討の余地がある	実施可能である	3
④ 事業実施の成果を何かしらの形で把握している。	把握している	把握不可能である	把握していない	3
⑤ 受益者に対して求めている負担は適正である。	適正である	見直しの余地がある	適正ではない	3
⑥ 多摩地域の他市と比較して充実している事業である。	他市より充実している	他市と同程度	他市の方が充実している	3

3 これまでの取組及び今後の展開

これまでの主な取組と成果
トワイライトステイ事業については、平成25年度より利用申込みの利便性・公平性の確保や、適正な費用負担の必要性などの課題の解決に向け、トワイライトステイインターネット予約システムを導入し、また、料金体系を利用時間に応じた体系へと見直しを行った。他のサービスについては関係機関と連携し、必要な市民に必要なサービスを適切に提供することに努めた。決定通知等について、基幹システムの簡易台帳を用いて、住基情報を照会し、活用することで、円滑に処理ができるようにした。
今後の課題・展開 (未達成の課題・具体的な方策等)
トワイライトステイ事業の利用方法については、インターネット予約システムの検証及び評価を行ったうえで、より公平・公正で利用しやすいシステムに向け検討を行っていく。 母児デイケア事業は、要支援家庭の早期発見・サービス提供に向けて、引き続き母子保健分野等との連携を更に強化するとともに、事業の実施方法の改善検討を行っていく。